

理事



新潟大学の竹林でございます。この度、2期目を務めさせていただきます。1期目は小泉理事長のもとで出版・広報委員長を務めさせていただきました。今期は岡野理事長のもと、出版・広報委員会の副委員長として、等委員長を支えて参ります。

昨年来の新型コロナパンデミックの影響で、日常生活、研究活動にも大きな影響がでております。1日も早い終息を願うと共に、学会で自由に「交流」できる日を心待ちにしているところです。2021年は奈良大会、そして、2022年には、ISN-APSN 京都大会が予定されていますので、有意義な学会となりますように、貢献して参りたいと考えております。

2015年から Journal of Neurochemistry 誌の Handling Editor を務めておりましたが、今年から Senior Editor となりました（以前は Deputy Editor と呼ばれていた立場であり、那波宏之先生が務めておられました）。Brain Development & Cell Differentiation 分野の担当をしております。Journal of Neurochemistry 誌は、ISN の学会誌であり、しっかりとした査読が行われております。論文掲載料が無料であり、非常に良心的に運営されています。日本神経化学会の会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。学位取得8年までの筆頭著者は、Mark A Smith Prize*の対象となります。

ポストコロナに向けて、学会のあり方についても、提案していきたいと考えております。いろいろなご意見をお聞かせいただけましたら幸いです。

Mark A Smith Prize*

https://onlinelibrary.wiley.com/page/journal/14714159/homepage/mark_a_smith_prize.htm

新潟大学大学院医歯学総合研究科 脳機能形態学分野
竹林浩秀